

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-297037(P2008-297037A)
【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)
【年通号数】公開・登録公報2008-049
【出願番号】特願2007-142901(P2007-142901)
【国際特許分類】

B 6 5 H 31/34 (2006.01)

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/34

B 6 5 H 37/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月19日(2010.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートごとに糊を塗布し、整合して綴じるシート処理装置において、
シートに糊を塗布する糊塗布手段と、
前記前記糊塗布手段により糊塗布されたシートを積載するシート積載手段と、
前記シート積載手段に排出されたシートを整合するシート整合手段と、
前記シート整合手段により整合されたシート束の糊塗布領域を押圧する押圧手段と、
を有し、

前記押圧手段は、前記シート整合手段により整合されたシート束を前記シート積載手段に排出されるシートの糊塗布領域が接触しない退避位置へ退避させることが可能であることを特徴とするシート処理装置。

【請求項 2】

前記押圧手段は、前記シート整合手段により整合されたシート束の糊塗布領域を前記退避位置へ退避させることを特徴とする請求項 1 記載のシート処理装置。

【請求項 3】

前記押圧手段は、前記シート整合手段により整合されたシート束の糊塗布領域を押圧した状態で前記退避位置へ退避可能であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のシート処理装置。

【請求項 4】

前記整合手段は、前記押圧手段が前記退避位置に退避するときにシートの整合が可能であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置。

【請求項 5】

前記押圧手段は、前記シート積載手段へシートが排出される前に、前記シート整合手段により整合されたシート束の糊塗布領域を押圧して前記退避位置へ退避し、前記シート積載手段にシートが排出され、該シートが前記シート整合手段で整合された後に前記シート束の押圧を解除することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置。

【請求項 6】

前記シート積載手段に排出されるシートは、前記シート整合手段により整合されたシート束の上に排出され、前記押圧手段は、前記シート整合手段により整合されたシート束を下方に回動させることにより前記退避位置へ退避させることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置。

【請求項 7】

シートに画像を形成する画像形成手段と、
請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置と、
を有することを特徴とする画像形成装置。